

自己評価報告書

平成 23年 4月 26日現在

機関番号：12501

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20320099

研究課題名 (和文) 近世起源の在日異邦人 (朝鮮人) に関する研究

研究課題名 (英文) Study on foreigner (korean) of the early modern times origin residing in Japan

研究代表者

趙 景達 (CHO KYEUNGDAL)

千葉大学・文学部・教授

研究者番号：70188499

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：日本史

キーワード：近世史 近現代史 在日朝鮮人史 交流史 差別 陶磁器 異邦人

1. 研究計画の概要

(1)本研究の第1の目的は、近世社会において特異な異邦人として存在し続けた鹿児島苗代川の人々の歴史から幕藩制国家の歴史的特質について新たな視座を獲得しようとするものである。

(2)本研究の第2の目的は、民族差別の問題を近世と近現代を通観する問題を解き明かす中で考えることである。

(3)とりわけ第2の目的は重視され、本研究では、苗代川の人々のアイデンティティ問題を近現代日本の形成過程と並行的に考えていく。彼らは果たしてどのようなアイデンティティを育みつつ近現代日本を生き抜いてきたのか。

(4)苗代川の人々は近代に起源を持つ在日朝鮮人とはアイデンティティがやや異なっている。たとえば、アジア太平洋戦争の前後において2度外務大臣となった東郷茂徳の生涯を追うことでその一端を考える。

(5)以上のことを通じて、在日朝鮮人総体の問題の本質を探っていく。苗代川の歴史は、「もう1つの隠された在日朝鮮人史」にほかならない。

2. 研究の進捗状況

(1)鹿児島県美山町 (旧苗代川) の調査を5次に渡って行い、古老や住民から聞き取り調査を行った。

(2)郷土史家からレクチャーを受け村の概要を把握した。また、大武進氏から史料提供を受け、その史料目録の作成を行った。この作業は現在も継続中である。

(3)苗代川から鹿屋に移住した朝鮮人についても調査を行い、戦前の事情に詳しい古老から玉山神社の宮司から歴史的経緯につい

て聞き取り調査をした。

(4)鹿屋の歴史や人間模様について事情を聴取した。

(5)黎明館や鹿児島県立図書館の資料調査を数度にわたって行った。

(6)入手した史料の読解を部分的に始めているが、現在もなお資料収集は継続している。

(7)苗代川との比較という意味で、有田の調査を行った。有田は李参平が始めたものであるが、有田焼の古老を訪ねて聞き取り調査を行った。

2. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(1)史料提供をしてくれる家門を捜し当てるのに、予想以上に手間取り、史料収集は3年目になってようやく軌道に乗った。郷土史家の大武進氏と出会えたことが大きい。

(2)史料の目録作りは始まったばかりであり、今後も続けていく。

(3)聞き取り調査をかなり行ってきたが、しかし率直に語ってくれる方を探すのに、困難が伴った。これも3年目には入村の有力な家門の方との接触がかない、大いに進んだ。

4. 今後の研究の推進方策

(1)大竹氏から提供された史料の目録作成を継続して行っていく。

(2)大竹氏を東京に招き公開研究会を開催する。

(3)陶磁器に関する知見が研究会メンバー全体感でやや不足しているので、その知見獲得に勤める。

(4)史料の読解を進めていき、苗代川の全体像を具体的に把握していく。

(5)聞き取り調査の整理を行う。

(6)分担作業での成果を確認批判しあう研究会を活発化させていく。研究最終年となったので、様々な整理作業が必須とされる。

(7)しかしながら、全体を冊子としてまとめるにはまだ時間が必要な状況である。研究機関が終了したあとも継続して成果の発表に努めていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 愼蒼宇「朝鮮強占」100年と日本の植民地責任『インパクション』174、pp.81～92、2010年
- ② 趙景達「戦後日本の朝鮮史研究」『歴史学研究』868、2010年、pp.1-12

[学会発表] (計3件)

- ① 久留島浩「幕末維新期の「武士」」19世紀研究会、2010年11月27日、明治大学
- ② 趙景達「近世朝鮮の地域社会と民衆運動」19世紀研究会、2010年11月27日、明治大学
- ③ 檜皮瑞樹「境界・マイノリティ・周縁への／からの歴史学」早稲田大学史学会、2008年6月27日、早稲田大学

[図書] (計3件)

- ① 趙景達・須田努編著『比較史的に見た近世日本』東京堂出版、2011年5月刊行予定
- ② 趙景達・宮嶋博史・李成市・和田春樹・須田努・愼蒼宇・小川原宏幸ほか『〈「韓国併合」100年を問う〉』『思想』特集・関係資料』岩波書店、2011年、総384頁
- ③ 安田常雄・趙景達・宮嶋博史・須田努・小川原宏幸・宮本正明・和田春樹『近代日本のなかの「韓国併合」』東京堂出版、2010年、総266頁